

全佛婦

No. 125
2017年夏号
7月20日発行



全佛婦125号

平成 29年7月20日 発行日

広報委員 編集人

末廣久美 発行人

発行所

公益社団法人 全日本仏教婦人連盟

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷

4-5-10-205

03-5772-0677 電話

<http://jbwf.jp/> URL

info@jbwf.jp MAIL

公益社団法人
全日本仏教婦人連盟

本多良之師 表紙画

巻頭言

心如工画師

東大寺長老
印度山日本寺第六世竺主

北河原公敬



全日本仏教婦人連盟の皆様におかれましては、平素より社会福祉活動にご尽力されておりますことに対し、心より敬意を表する次第でございます。

また印度山日本寺の福祉事業をはじめとした活動に、絶大なるご支援とご協力を賜っておりますこと、衷心より御礼申し上げます。今後共にお力添え賜りますようお願い申し上げます。

近年、海外から日本へ観光客が増加しているとのこと、奈良公園も例外ではありません。東大寺の境内も同様で、国の内外を問わず観光客で賑わいを見せています。

私の自坊があります大仏殿から二月堂へ向かつての裏参道も、往き来する人々、カメラを覗いたり、絵筆を走らせたりしている人をよく見かけます。

特に昔ながらの土堀と石段の道は、いかにも風情のある参道となっております。天気の良い日

私たちの心は仏にもなるが鬼や悪魔にもなってしまう。見たり感じたり、あるいは思ったことを心の中で描く際、私たちは往々にして色眼鏡をかけて見たり、オブラートの外から判断したり、時には邪心をもって描いてしまいます。そこから間違った認識をしたり、過ちを犯したりすることになります。

だからこそ、私たちは物の本質というか実相というものをしっかりと認識し、何事にもとらわれず、ありのままの真実の姿を描ける絵心が必要となります。このことはマスメディアの豊富な今日、そして益々情報化が進む社会にあつて、私たちににより一層大切なことではないでしょうか。

そういう意味で「心如工画師」を理解するならば、益々味わい深い一節となりましょう。

この機会に『唯心偈』のお写経をお勧めして拙文の終わりと致します。

などは、自坊の門前はカメラを構えたり、スケッチをしたりする人たちがいて、門の外へ出るのをはばかり程です。絵筆を走らせている方の作品を覗くと、具象画が圧倒的に多いのですが、中には抽象的な絵も見られます。私は絵心を持ち合わせていませんので解りませんが、いずれにせよ本人が描こうと思っっているものを、忠実に表現しているの

ところで、東大寺では皆様にお写経をお勧めしております。お写経というと『般若心経』がよく知られていますが、私どもの寺では『般若心経』と共に『華嚴唯心偈』というお写経をお写経いただいております。

東大寺は華嚴宗なので、所依の經典はもちろん『華嚴経』であります。その『華嚴経』のエッセンスともいべき「唯心偈」は、百文字なので別名「百字心経」とも称しております。

少し宣伝をさせていただきますと、一部一五〇〇円の奉納料でお写経いただき、毎年八月七日の大仏様お身拭いの時、大仏様の胎内にお納め致しております。お写経は東大寺の写経道場で行っていただいても良いし、ご自宅でお写経されて郵送していただくことも可能です。ご希望があればお写経セットを送らせていただきます。

話がそれましたが、前述の「唯心偈」は、「心如工画師」画一種

お写経問合せ先

 東大寺寺務所 写経係

☎ 0742-22-5511

🌐 <http://www.todaiji.or.jp/contents/sutra/index.html>

東大寺 写経

種五蘊」という一節で始まっています。これは「心は巧みな画師（画家）のように、種々の心と形を描く」というのです。

私たちの心は上手な画家のようになり、いろんなものを自分の思うがままに、忠実に描くことが出来ます。私のように絵心の無いものは、キャンバスには上手に絵を描くことはできませんが、心の中では誰にも負けない立派な絵を描くことが出来ます。それこそ高名な画家にも負けない絵を、自由自在に描くことができます。

ところが描き方によっては、

赦す心

般若心経というお経の中には、空の心、色即是空、空即是色などと「空」という言葉がたくさん出てきます。

元管主の高田好胤師は、この「空」をどう説明したらいいか、いろいろと苦労した結果、ふっとお薬師様の前で

「かたよらない心、こだわらない心、とらわれない心、広く広くもつと広く、これが般若心経、空の心なり」という言葉が出てきたそうです。

自分の言葉ながら

「これは自分で言ったのではない。お薬師様が自分の口を借りて言わしめたのだ。お薬師様の言葉なのだ」と、講演会場などでは必ず、最初と最後にこの言葉を唱和され、特に講演後には、聴聞者と一緒に大

きな声で唱和されていました。

しかしそう簡単に、かたよらない、こだわらない、とらわれない心にはなれません。どうすれば広い心になれるか、寛容な心になれるのか。そのひとつの方法は、人を赦す心を持つことなのです。

××××××××××××××××××

しかし実際には、赦すことは非常に難しい行為です。生きる幸せに気づくための「五つの心」の中でも、最も難しいものでしょう。

他人の過ちを赦すには、忍耐が必要で。

忍耐の「忍」は、刃物に心と書きます。刀の刃は打てば打つほどいいものができます。刃を作るように心を作ることが「忍」なのです。



そしてその「忍」にごんべんをつける「認める」という字になります。他人を認める、人の意見を認める、相手の立場を認めたときに赦しができ、また寛容な心も湧いてきます。

××××××××××××××××××

ひどい仕打ちをされれば誰でも腹が立つし、恨みにも思うもので

す。その相手を認め、寛容になるには、やはり時間が必要です。忍がいらいます。辛いけれどそれを辛抱するのです。

恨みの気持ちを抱いたままでは、あなたはずっと不幸です。相手を赦すことで、あなたは自分の苦しみ、恨みの気持ちから解放されるのです。

法然上人のお父さんは地方の武士で、徳が高く人望もあついでした。

しかしそんなお父さんに嫉妬をした者に、夜襲をかけられ切り殺されてしまいます。

それを目の当たりにした当時9歳の法然上人は、親の敵を討つべく、弓矢を放って敵の目に命中させます。それを知ったお父さんは、法然上人に、息を引き取る前にこう諭したのです。

「あだ討ちをするな。出家して聖の道歩め」

この父の言葉で、法然上人は出家し、仏道を追求して高僧となったのです。

お釈迦さまは「法句経」というお経の中でこうおっしゃっています。

「実にこの世にしては、恨みに報いるに恨みを持つてしては、ついに恨みのやむことがない。恨みを捨ててこそ、恨みはやむ。これは永遠の真理である」

××××××××××××××××××

恨みの連鎖はどこかで断ち切らねばなりません。忍耐と辛抱が必要ですが、あなたの手でそれを行うのです。「辛い」という字は「立

つ」に「十」と書きますが、「辛い」の「立つ」に「一」という横棒を入れることにより「幸せ」という字になるのです。

一つ辛抱をすれば、幸せになる。辛抱して相手を赦すことができたときに、明るい未来がやってくるのです。

難しいけれど諦めずに、人を赦す心を育て、幸せな人生を手に入れませんか。

安田映胤

『生きる幸せに気づく五つの心』
(主婦と生活社刊)より

相手を赦すことで、自分の苦しみから解放され、明るい未来がやってくるのです。

【安田映胤師】昭和13年岐阜市生まれ。昭和25年12歳で出家し、薬師寺に入山。橋本凝胤師の薫陶を受ける。昭和37年龍谷大学大学院修士課程修了。昭和38年宗教者平和使節団員としてローマ法王との謁見を始めヨーロッパ各地の宗教者と懇談。昭和39年名古屋大学学術調査隊員としてアフガニスタンを踏査。昭和42年薬師寺執事長就任。平成10年に薬師寺副住職、平成15年、薬師寺管主となり、現在は薬師寺長老。公益財団法人国際仏教興隆協会前理事長。



公益社団法人 全日本仏教婦人連盟

第五回総会・第十三回理事会

本連盟の第5回総会、第13回理事会が6月8日(木)、大本山池上本門寺にて開催されました。まず、大堂におきましてお導師菅野日彰猊下のもと法要が厳修され、篠田副理事長の挨拶ののち、ご法話を拝聴しました。一部をご紹介します。

仕事をさせる。そういう力を持つております。お帰りの際は庭園(松濤園)もぜひご覧いただき、また本日の総会が円満成就となりますよう祈念いたします。」とありがたいお言葉を頂きました。

寄せられた200万円を「くまもと応援寄付金」に送金し、東日本震災の復興支援では、「タオール運動」や「あおぞら奨学基金」、仮設住宅訪問などの継続的な支援活動も報告された。

「私は、大本山池上本門寺83代目の貫首でございます。本門寺は女性に大変優しい寺院でございます。日蓮上人はお強い面ばかり知られておりますが、実は亡くなられたお母さまの髪の毛を生涯大切に持ちになりました。仏様にお仕えするにあたり、そういう秘めた大きな力を身を持ってお示しくだされたお方でした。私は、毎朝大堂にてお勤めをしております。ご尊像を拝顔しておりますと、自然に両親を思い出します。婦人連盟の皆様はお寺などで女性の立場というのは実はとても大きい、表には出ないが男性を本当に力を出させて

記念撮影、昼食のあと、総会会場の本院寺務所「長栄の間」に移動し、午後1時から会員40名が出席、また128通の委任状提出により総会成立が宣言されました。総会にあたり末廣理事長が挨拶し、今後の活動のために「定款変更」や「西日本支部の設置」といった方針を示し、「皆さまと共に、将来に向けて全仏婦の設計図を作っていくたい」と協力を求めた。

つづいて任期満了に伴う理事、監事改選では村主みや子氏(真言宗中山寺派)、丸山弘子氏(学識経験者)、御嶽由美子氏(真言宗智山派)、小峰みな子氏(同)の新任4名を含む15名並びに監事3名が選任された。西日本支部設置の準備のため、高知県・竹林寺の海老塚るり子氏(真言宗智山派)を取りまとめ責任者として承認した。事務局と密に連絡を取りながら、西日本方面の会員増加や運動の拡充を目指す。

議長・議事録署名名人の選出に引き続き、大橋理事より28年度事業報告、事務局より決算報告、鈴木・佐々木両監事より監査報告があり、昨年4月に発生した熊本地震では緊急募金や「心の募金」で

事務局より、平成29年度事業計画および予算の報告、平成29年度事業は、環境事業、募金事業、被災地支援事業、対アジア支援事業など、各種事業の計画を報告。写経運動については毎月25日の「写

経の日」に、広く一般の人にも写経をしてもらうため、案内用のちらしを制作して、運動の広がりを図る。

また第12回理事会で顧問に大賀美都子氏、参与に小峰喜和子氏、鈴木トヨ子氏が選任された報告の後、無事閉会いたしました。



総会にて選任された新役員は、第13回理事会にて理事長、副理事長、常務理事の選任がされ次の通り承認されました。29年度役員をご紹介します。(任期・2年)

役職	氏名	所属
会長	東伏見具子	天台宗
副会長	稲山靈芳	念法真教
副会長	加用稔子	浄土宗
相談役	岡野鄰子	孝道教団
名誉顧問	六條照瑞	真言宗御室派
顧問	大賀美都子	学識経験者
顧問	林 恵智子	臨濟宗妙心寺派
参与	小峰喜和子	真言宗智山派
参与	鈴木トヨ子	真言宗智山派
理事長	末廣久美	天台宗
副理事長	篠田節子	曹洞宗
理事	花岡真理子	真言宗智山派
理事	桶屋良法	念法真教
理事	長尾節子	曹洞宗
理事	日比野郁皓	浄土宗
理事	村主みや子	真言宗中山寺派
理事	丸山弘子	学識経験者
理事	御嶽由美子	真言宗智山派
理事	小峰みな子	真言宗智山派
常務理事	岩脇孝子	真言宗豊山派
常務理事	本多端子	浄土真宗東本願寺派
常務理事	松井百合子	曹洞宗
常務理事	梨本三千代	真言宗豊山派
常務理事	大橋百合子	真言宗智山派
監事	木村匡成	公認会計士
監事	佐々木公子	臨濟宗妙心寺派
監事	湯浅正江	天台宗
西日本責任者	海老塚るり子	真言宗智山派
事務局長	小棹ふみ子	税理士



「恩返し」から 「恩送り」へ

子供達は涙を流すために生まれてきたんじゃない

浅草寺法善院住職 塩入亮乗



抱きしめられるために生まれてきたんだ

プロレス漫画『タイガーマスク』（梶原一騎原作）をご存知でしょうか。主人公は孤児院で育った伊達直人といい、レスラーになってからは、そのことを隠しつつファイトマネーを同じ境遇にある子供達の施設に寄付し続けた覆面ヒーローの話です。

これに倣うように、平成二十二年に「伊達直人」と名乗る人物から、群馬県の中央児童相談所にランドセル十個が送られるといったことが起きました。その後、この現象は各地に連鎖して広まり、相次ぐように第二第三の伊達直人が現れて話題になりました。送られた品々は現金や玩具など多岐にわたりますが、その一部を翌年の新聞から紹介すれば、

●愛知の「中学生の伊達直人」さんからは、「お年玉で買いました」との手紙と「鉛筆、消しゴムなどの文具」が、

●福井の「失業中の伊達直人」さんからは、「この時の挨拶を私は名言だと思っています。」

子供達は虐待されるために生まれてきたんじゃない、抱きしめられるために生まれてきたんだ。

子供達は涙を流すために生まれてきたんじゃない、笑顔になるために、周りの人を笑顔にするために生まれてきたんだ。

NHKの番組に『ドキュメント72時間』というのがありますが、その中に郵便局を舞台にしたもので、クリスマスカードを入れた大きな紙袋を持参して、それに切手を貼る男性の姿がありました。訊ねてみれば、それらは養護施設の子供たちに贈るもので、実は私もそうした施設で育ち、1枚のカードも来ないこの季節の淋しさを知っているのです、喜ばせたいという気持ちからとのことでした。ふと伊達直人との重なりを感じてしまいます。

このほか貧困の高校生の話など

んからは、「病気で失業中のため気持ちだけ」という手紙を添えて「水彩画セット、クレヨン」が送られる、

といった動きでした。さらに報道によれば、最初に寄付を行ったこの人物は家庭環境に恵まれず、幼少期に母親を病気で亡くし（父親とは絶縁）、親戚の間を転々とし、『生まれてきて、ごめんなさい』と言われたこともあったようです。小学生に上がった時、自分にはランドセルがなく、手提げ袋で通学したといい、そうしたつらい経験が原点となり、「子供の将来を助きたい」という発心ともなっており、今の活動につながったわけですから（実質活動は二十年目）。

その伊達直人さんが昨年十二月七日、後楽園ホールで開催された「初代タイガーマスク三十五周年大会」のリングの上で、本名は河村正剛氏（当時四十三歳）であること、普通のサラリーマンであることを素顔とともに初めて明か

もご紹介したいのですが、それは別の機会に譲るとして結びを急ぎますと、私たちに課せられた行為の一つに「恩返し」とは違う、「恩送り」があると思っています。永六輔さんの歌に『生きていく』という曲があり、「生きていく」ということは、誰かに借りをつくることで、「生きていく」ことは、その借りを誰かに返すことといった内容を歌っています。受けた御恩をバトンのように別の人に送っていく。それを自己満足という人もいますが、そんな時はいつも、自己不満足よりいいだろうと思うことにしているのです。

第107回
文化講座
『子ども目線で考える』
2017年9月13日
【講師】塩入亮乗師

文化講座報告

知識や教養だけではなく、実のある生き方を教示された“仏さまの智慧”を学ぶことを目指し、様々なジャンルの講師の方を招いて東京谷中天王寺で開催している文化講座。第104回・第105回の講座のご報告をいたします



色とりどりの美しい作品が出来上がりました！



第104回文化講座

「一貫張りの講習会」

4月19日(水)午後2時～
【講師】田中麗子先生

29年度最初の文化講座「一貫張りの講習会」は、初めて手作りする講習会を開催しました。一貫張りとは竹籠に和紙を貼り、その上から柿渋を塗ったものを一貫張り（一閑張り）と言い、一般的に農家で農閑期に作られることが多かったためにこの名が付いたと言われていました。また、一貫目の重さに耐える事から一貫張りと言われたとも。

今回の講習は、田中麗子先生が、前もって下張りの和紙を貼った竹籠を用意して下さり、参加者は赤、黄、緑、紺等の好きな色の籠に下張りの小さな和紙を糊付けて行くのですが、慣れぬ手つ



きに先生方の手助けを頂き和紙を貼り乾燥を繰り返して、本張り用の布や柄物の色紙等気に入った柄を好みに切り抜き、思い思いに竹籠に貼り、十分に乾燥させて刷毛で無臭柿渋を塗って頂き、乾燥させると落ち着いて発色もきれいになって完成！！

先生のアドバイスを頂きながら、和気あいあいと賑やかに、みな個性が光る素敵な作品が出来

岩脇孝子 合掌

上がり、小物入れ、菓子盆に？と夢を膨らませて、今までにない楽しい手作り講習会となり大好評でした。
日本古来の柿渋を塗ることにより強度がまし、防水、防虫等の効果もあり色々な物の下張りに使用されて、とても軽かった事。先人の知恵のすばらしさを改めて学ばせて頂きました。
田中先生や助手の方々のご指導で、普通ではもった時間がかかる処、短時間で作品を作ることが出来ました事、とても楽しい思い出に残る講座となり珍しい体験をさせて頂きました。

第105回文化講座

「薬師寺と東大寺 絢爛たる仏教文化」

5月17日(水)午後2時～
【講師】丸山弘子先生

5月17日(水)第一〇五回文化講座は講師に丸山弘子先生をお招きし「薬師寺と東大寺 絢爛たる仏教文化」をテーマにご講演を頂きました。

東京に生まれ早稲田大学大学院修了。早稲田環境学研究所・早稲田環境塾講師であられる丸山先生は、環境と仏教の関りから「華厳思想」を研究なされ、日中韓学生交流環境フォーラムや世界仏教徒会議で華嚴の「因陀羅網（インドラ網）」と環境を発表される等ご活躍中でございます。

本日はテーマに基づき、薬師寺と東大寺建立の時代背景等について、事細かにお話を頂きました。

た。シルクロードの東の終着点といわれる奈良に建立された薬師寺は、法相宗の大本山であり、「西遊記」で有名な玄奘三蔵を始祖と仰ぐ寺院です。また、持統天皇の病氣平癒を願って建立されたとも云われています。白鳳期の最高傑作の一つとして有名な国宝「本尊薬師三尊」、薬壺を持たない薬師如来は奈良仏教の特徴の一つと云うこと。国宝の東塔は、一見六重の塔に見える裳階のある三重塔で仏塔建築として類例のない意匠を示していると云うこと。西塔、玄奘三蔵院等も擁して、見学する処が沢山あるというお話でした。

一方多くの社会不安のあった天平時代、聖武天皇は国家安穩を願い各地に国分寺を建立。

また、唐・長安で開花した華嚴経の教理を基に、東大寺大仏（盧舍那仏）を建立しました。この盧舍那仏の蓮華座の蓮弁（蓮の花弁）に、線刻された華嚴経の世界観を表す画像も、釈迦如来と諸菩薩が描かれ「華嚴経」の説く「蓮華蔵世界」を表したもので、天平時代



の造形遺品として貴重なものというお話も伺いました。

今回の講演を基に、古の奈良の都に心を馳せ、薬師寺・東大寺の建造物に込められた古人の思いを胸に「奈良仏教セミナー」へのご参加を望みます。

合掌
大橋百合子



奈良仏教セミナー

6月30日に奈良仏教セミナー

「古寺めぐり」薬師寺・東大寺」が開催されました。
参加者は、史上最多の総勢67名で、賑やかなセミナーとなりました。



6月30日、第106回文化講座：奈良仏教セミナーが開催され、会員他67名が参加しました。当日は、5月の文化講座：奈良仏教セミナーについて、丸山弘子先生（当連盟理事）に講師をお勤め頂き、薬師寺、東大寺を参詣しました。

京都駅からバス2台で奈良に向かいましたが、出発した頃は雨も強く天候が心配でしたが、薬師寺に着く頃は小雨になり、奈良ホテルでの昼食の際にはすっかり雨も上がり強い日差しが眩しいくらいになりました。

京都からの車中、「薬師寺と東大寺・絢爛たる仏教文化」のレジュメを片手に丸山先生のご講義に耳を傾けながらセミナーがスタートしました。

薬師寺では役僧様の弁舌さわやかな説明に誘導され、ご本尊薬師三尊像を参拝いたしました。その後この度見事に再建された「食堂」にご案内を頂き、堂内の平山郁夫画伯とお弟子様による素晴らしい壁画「シルクロード」に、ただただ皆感動するのみでした。

た。続いて村上太胤御管主の流れるような話術で「伝統と修行」をテーマにしたご法話を楽しくお聞きしました。

昼食は、古の趣のある奈良ホテルにてフレンチを頂きながら楽しく歓談のひと時を過ごしました。東大寺に向かう頃にはとても暑く、ハンカチ片手の到着となりました。当連盟もお写経を納めている印度山日本寺の竺主にご就

任された東大寺長老北河原公敬猊下には「東日本震災からの日本人のつながり」のお話をいただきました。「無財の七施」を改めて心に染みこませて、鹿と戯れながら大仏殿に向かいました。とても大きい大仏殿は、永い歴史の重さ

と多くの人々の想いを素直に感じさせるものでした。頭（こうべ）が自然に下がり、盧舎那仏のお足元によらせて頂いた感激は、参加者全員共通のものであると感じております。

玄奘三蔵法師によるシルクロードの旅は奈良において白鳳文化として結実し、それは、今にいたり再建と修復の歴史ともなっていますが、日本人のアイデンティティとしての誇りと当時の人々の気持ちを感じつつ心地よい充実感とともに帰路につきました。

梨本 三千代



Nara Buddhist Seminar

特別に大仏殿に登壇させていただきました。より近くで大仏さまを感じ、その迫力に感動いたしました。



東大寺





Nara Buddhist Seminar



総勢 67名の賑やかなセミナーとなりました。大勢のご参加ありがとうございました。

参加者の声 01

梅雨の間の「奈良仏教セミナー」の研修が6月30日に行われ参加させていただきました。心配した雨も薬師寺に着く頃には小降りになりました。村上猥下様のユーモアあふれるお話しの中で伽藍の復元がお写経の奉納でなされていることをお聞きし、信心の素晴らしさを思いました。東大寺でのご話も説得力のあるものでした。日常の気忙しい中でつい忘れがちな「無財の七施」。日常を当たり前と思わず感謝の心を持ち、寺族として精進に努めたいと思いました。奈良の古の仏教文化を堪能した1日でした。ありがとうございました。

参加者の声 02

全日仏婦文化講座に参加させて頂き今回で2回目になり前回は京都、今回は奈良の歴史ある仏教伝統文化にふれ有意義な時を心にいだかせてもらいました。

久しぶりに訪れた薬師寺さんが景観が一新され、特に食堂を拝観させて頂き感激でした。仏像・建物の大きさ、神仏習合のご講話で歴史の深さを感じさせられました。

続いての東大寺さんの仏像の大きさと歴史の深さに感動しました。ご案内の説明に時間を忘れて楽しかったです。

奈良ホテルでは興福寺の五重塔を見ながら昼食をいただき、楽しい1日をありがとうございました。



薬師寺



ご法話

薬師寺管主 村上太胤猥下 ご法話

奈良は神様の国ですが、そこに聖徳太子の時代に仏教が伝来して神仏習合し、その歴史と伝統が未だに残っている土地柄です。そして日本は天武天皇や持統天皇の時代には国家としての体制を整え、伊勢神宮や春日大社等の式年遷宮もはじめる一方、薬師寺や飛鳥寺等仏教寺院が建立されました。このように神様は身近な存在なので、薬師寺では行をする度に春日大社に挨拶に行き、毎朝のお薬師様の法要には、春日明神や氏神の八幡様にもお詣りをしております。

奈良仏教は伽藍仏教と言われ、七堂伽藍（塔、金堂、講堂、食堂、僧坊、経蔵、鐘楼）を有しますが、薬師寺は度々の火災により焼失してしまいました。伽藍は高田好胤師が提唱された写経勧進のおかげで少しずつ復興しておりますが、本年は食堂が再建されました。食堂には平沼郁夫画伯の弟子の田淵俊夫画伯の「阿弥陀三尊浄土図」とシルクロードがテーマの壁画が奉納されました。



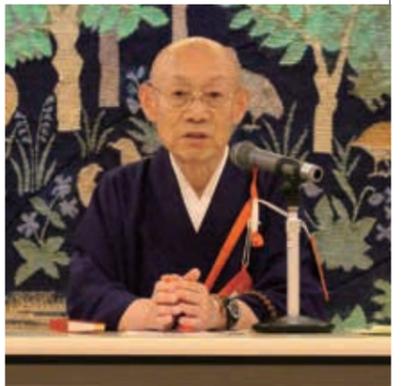
薬師寺では儀式は千三百年前の伝統をそのまま継承し厳修しています。九歳の時に薬師寺の橋本凝胤師に師事しまして今日に至りますが、その修行はとても厳しいものでした。講問論義と山林修行がありますが、学問と修験道です。

奈良には「あおによし」という枕詞ありますが、空の青と地の赤がかみ合った素晴らしい土地であるという意味です。神の国でありながら仏教を受け入れて発展させ、また「伝統と修行」は千三百年も継承されていることを象徴しているように思います。

東大寺長老 北河原公敬猥下 ご法話

菩薩行とは人のために働くこと、菩薩の心とは慈悲の心です。何が大切か、それは布施行なのです。他者のために役に立つ行い、言い換えれば施しです。施しとは、してやったという上から目線で行動することが多くありますが、本当の意味での施しは、して差し上げる、働かせて頂くという気持ちをもって行うことです。

仏教には無財の七施という言葉があります。財がなくても心がけ次第で誰にでもできる布施行です。人のために働き、役に立つ菩薩行と同じです。





20th Anniversary

まけないぞう

阪神・淡路大震災をきっかけに、1997年に「まけないぞう」が生まれてから今年で20年になります。「まけないぞう事業部」では、「まけないぞう20年ありがとうキャラバン」を企画しお礼とご報告を兼ね各地域に訪問および販売したいとお手紙が届きました。ご紹介いたしますとともにご協力くださいますようお願い致します。



貴連盟との出会いは、1997年1月16日神戸市・須磨寺で催された阪神・淡路大震災犠牲者三回忌法要でした。いまになって思えば、「まけないぞう」が生まれた年にご縁をいただき、「まけないぞう」の側にはいつもみなさんの存在がありました。中でも「もうこの事業は終わりだな」という危機を救ってくれたのも貴連盟です。貴連盟のご協力があったからこそ、ここまで続けることができたとと言っても過言ではありません。あらためて、KOBE発生きが「まけないぞう」を長期に渡りご支援頂きお礼を申し上げます。誠にありがとうございます。1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災から今年で22年を迎え、その2年後の1997年7月に生まれた「まけないぞう」は今年20歳になります。この20年間で約27万頭の「まけないぞう」が全国・全世界に広がっています。

これまで22年の間には、多くの災害が発生し、辛いこともたくさんありました。被災者の方に「なんで私はいま仮設で『まけないぞう』を作っているんだろう」と言われた時、何も答えられませんでした。それでもずっと「まけないぞう」を作り続けてきた被災者が「ぞうさんの鼻のように、私も長く元気で生きていきます」というメッセージをくれた時は、「長く辛抱した甲斐があった！」と嬉しくなりました。こうして「まけないぞう」は多くの被災者の心の支えになってきました。現在、主に東日本大震災の被災者が作っています。みなさんはこの「まけないぞう」を心の支えにしながらいらいらな生活を過ごしているのです。



また、みなさまの善意で「まけないぞう」の材料となるタオルを全国から集めています。これは貴連盟の活動の一つとして「タオル運動」を掲げて頂き、当センターにはこれまでたくさんの方々のタオルとともに、「被災地のみなさまのことは、これからはずっと忘れたいし、自分のできる範囲でこれからも支援していきたい」と思っています」など、たくさんの方の励ましのメッセージが届きます。そこで、今年20年の節目でもあるので、これまでご支援して頂いた方々にお礼とご報告をするために、みなさまのお住いの町へお伺いしたいと考えています。みなさまには、まけないぞう販売やまけないぞう・ボランティア・災害救援などの講演会の機会のご提供をお願いしております。何卒、ご協力の程お願い致します。詳細につきましては、当センターまでお気軽にご連絡ください。

増島智子

詳細については、HPをご覧ください。

【被災地 NGO 協働センター】
<http://www.ngo-kyodo.org/makenaizou/index.html>
☎ 078-574-0701

まけないぞう

【問合せ】
当連盟事務局 03-5772-0677

お写経のすすめ

Shakyo no Susume



お写経は、仏教の經典の文字を一字一字、丁寧に書写すること、心身を清める修行として、大きな功德があります。經典は、お釈迦様のありがたい教えをまとめたものなので、お写経を繰り返すことでその意味を感じ取りながら仏教の教えを学ぶことができます。お写経とは本来、徳を積むための行為であり、見返りを求めて行うものではありませんが、お写経を始めるきっかけとして、まずはどんな効果があるか知りましょう。

現代の医学的見地からみても、写経や読経が自己の治癒力を高める効果をもたらすということが分かっています。一つのことに意識を集中させることによって、神経系統、特に大脳の働きが整理されて、からだ全体がバランスよく保たれます。そして各器官が活発化してくるのです。

最近では大学などの研究で、写経は字を書くという指先を使う作業のため、脳を活性化することに効果があり、認知症の予防を目的に高齢者用のリハビリプログラムとして有効であることが証明されました。多感な青少年、また高齢者のためまで幅広く効用があることが、いま科学的にも注目されています。

お写経の効果

1. 指先を使うことで、脳を活性化させることができます
2. 姿勢がよくなり、心と体が落ち着いてきます
3. 自然の治癒力が向上します
4. 集中力と忍耐力がついてきます
5. 字が上手になります
6. イライラを解消し、疲労回復がはかれます
7. 心が清浄になり、安心の境地が得られます

問合せ先

(公社) 全日本仏教婦人連盟

☎ 151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷
4-5-10-205

【TEL】 03-5772-0677

【FAX】 03-6434-0184

【URL】 <http://www.jbwf.jp>

【MAIL】 info@jbwf.jp

般若心経

舍利礼文

十句観音経

写経用紙は上記の三種類を用意しております。必要枚数をお申し込みください。(ホームページからも印刷できます。)

- お写経はインド・ブッダガヤの「インド山日本寺」の宝篋印塔にお納めします。
- 奉納金は一卷につき1000円をお願いいたします。
- お納めいただいた奉納金は、日本寺境内にあります光明施療院において、ガヤ地域の子供たちの健康の維持、回復、促進などを目的とした無料の医療福祉活動の運営に活用させていただきます。

あおぞら奨学基金



当連盟では、東日本大震災で被災した高校生の授業料以外の必要な学習費用を支援しています。皆さまにご支援いただき、今年無事卒業を迎えることが出来た高校生達からお手紙が何通か届きましたので、一部紹介いたします。



宮城県石巻市 Sくん

この度はあおぞら奨学生に採用していただきまして誠にありがとうございます。この奨学金により経済的に非常に助かっており安心して充実した高校生活を送る事ができました。

思い返してみると高校1年生の時、授業についていくのが精一杯でした。しかし2年生の時、あおぞら奨学生として採用していただき、気持ちにゆとりができて、勉学に励む事ができました。自分の弱点や勉強する習慣が身に付き学校の授業に付いていける様になりました。今まで友達に教えられていた立場が教える立場に変わり、友達の幅を広げる事ができました。お陰様で、成績も右肩上がり志望していた大学の推薦を受ける事ができ合格する事ができました。奨学生として採用されなければ志望校に合格できなかったと思います。

私の将来の目標は銀行員になって地元の復興と活性化に尽力したいと考えています。私の地



将来の目標

福島県福島市 Sさん

1番の思い出は3年の体育祭、文化祭などの行事で、自分達で考え計画しなければなりません。自分が考えた体育祭での余興が成功し、先生と話し合い作り上げていくその過程で、スムーズな段取りや企画の趣旨を他人にわかりやすく説明することの大切さを学びました。

文化祭ではクラスでどの様な店を出店するかなどを話し合い、コミュニケーション能力の向上と良い悪しを見極める力を養いました。そして大学でさらにその能力を伸ばし養っていきたくて考えています。あと残り2ヶ月をまたこれからの人生も様々な事にチャレンジしながら悔いのない生活を送り、精進していこうと考えています。



この度はあおぞら奨学基金でご支援いただき、本当にありがとうございます。この三年間、食に対する知識や技術等を学びたいと栄養士の資格取得を目指せる大学への進学を考えるようになりました。

そのきっかけは、東日本大震災に伴う原発事故です。福島県産の食品の安全性が問われたことで、人が生きていく中で食が果たす役割の大切さを深く知るべきなのではないかと考えました。

福島県産の食品は放射性物質を検査し、国が定めた基準値を下回ったもののみが市場に出回りますが、そもその基準値が海外等に比べて本場にその数値でいいのか、また他県の県産品は測らなくていいのかなど、たくさん疑問はなかなか無くなりません。

更に放射性物質だけでなく、それまで全く気がつかなかった食品添加物についても、詳しく知りたいと思うようになりました。加工された食品を買う時、原材料を

元は東日本大震災で甚大な被害を受けました。震災から6年経った今も完全に復興したとは言えません。私が銀行員になったら地元の中小企業に資金を融資し、災害に強い街づくりを目指す。マートシテイ事業や土地を有効利用するメガソーラー事業など様々な事業を中小企業と密着して行いたいと考えています。

そのためには私が合格した東北学院大学経済学部共生社会経済学科で様々な観点から物事を捉える力、フィールドワークといったボランティア活動にも積極的に参加しボランティア精神とコミュニケーション能力の向上を図りたいと考えています。

私には4つ歳の離れた妹がおり私が私立大学に通う事は経済的な負担が大きく厳しいものがあります。それでも両親は私の私立大学進学を後押ししてくれました。両親への感謝の思いと同時にその気持ちに応えねばならないとおもいます。学問に精進し、在学中はバイトをして両親の負担を少しでも軽減させてあげたいと考えています。

高校卒業まで残りわずか、私の

見るとたくさん添加物が入っています。ほとんどが長時間保存を目的にしているのではと考えましたが、まだ勉強不足ですべて理解出来ていないわけではありません。スーパーに並ぶ食品の多くがそういった添加物を含む食品ですが、最近ではこだわって無添加のものも増えています。無添加食品の価格は高いのですが、需要があるから製造されているというのを考えると、添加物についてももっと詳しく学びたいと考えています。

進学したい大学ではまず食物の栄養から健康や食について学び、人の役に立つ仕事に就きたいと思っています。食物が身体を作っていくのですから、より安全な食品について勉強し、その学んだ事を生かし、実際に食卓にも出せるようになりたいと思います。

これらの勉強に貴団体からのご支援は本当にありがたく、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



当連盟ではインドベナレスのDCVの8名とSRFの1名そして標高3500メートルのラダックの学校に通う1名を支援しております。

新しい里子2名の紹介をします。

それぞれ、お父さんやお母さんがいなかったり、両親ともいなかったりなど経済的にもとても厳しく困難な状況に置かれている子供たちです。しかし、みな成績優秀で、農村や国の貧しい人々の役に立ちたいという夢を実現させるため、毎日勉強に励んでいます。

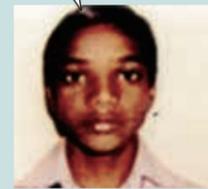
子供たちが継続して教育を受けられることができるように、どうぞあたたかいご支援を宜しくお願いいたします。

日本は理想的な国です。



ジョティ・マウリヤちゃん
▶ 年齢：10歳（6年生）
▶ 親の職業：【父】日雇い労働者 【母】主婦
▶ 将来の夢：教員
▶ 好きな科目：社会学

エンジニアになって、貧しい人々の役に立ちたいです



アビシエク・パテルくん
▶ 年齢：12歳（7年生）
▶ 親の職業：【父】日雇い労働者 【母】主婦
▶ 将来の夢：エンジニア
▶ 好きな科目：英語・数学

facebook 絶賛稼働中!

「今」の仏婦の活動を世界中に配信中です!

パソコンからも
スマホからも
閲覧可能です

2016年4月にFacebookに当連盟のページを開設し、
日頃の活動の報告を随時しております。
閲覧者数も開設当初に比べ3倍ほどに増えております。
皆様も是非ご覧ください。

Facebookの閲覧方法

1 検索サイト (Google や Yahoo!) など
で「全日本仏教婦人連盟」を検索。
<http://ja-jp.facebook.com/ajbwf/>

2 「全日本仏教婦人連盟 - ホーム | Facebook」
をクリックをすると、全日本仏教婦人連盟の
ページに飛びます。

3 記事の一覧が表示されて
いるので、見たい記事を
クリックしてください。

Facebookにログインして、全日本仏教婦人連盟のコンテンツをさらにチェック
このページにメッセージを送信して、近日開催予定のイベント情報などをチェックしよう。

ログイン
または
アカウント登録
後で

閲覧中、上のような表示が出ますが、「後で」をクリックすれば、引き続き記事を読むことができます。閲覧のためだけに、アカウントを登録する必要はありません。

仏婦のうた

作詞: 長田恒雄
作曲: 高橋定一郎

一、ほとけの御手に みちびかれ
正しき智慧の ともしびに
たかくかかげて 睦みつつ
安らう今日のよろこびよ
女性よ 母よ ああ
われらともどもに

二、ほとけの御声に招かれて
険しき世にも ひるみなく
つよきちからに あふれつつ
生きゆく今日の よろこびよ
女性よ 母よ ああ
われらひたすらに

三、ほとけのこころを いただきて
とうとき教え 受けつたえ
深き想いに 和みつつ
呼び交う今日の よろこびよ
女性よ 母よ ああ
われらとこしへに

私たちは大会等の最後に「仏婦のうた」をご来賓の皆さまと一緒に合唱いたしました。このお歌はどのような感じの歌でしょうか?

昭和30年の4月1日発行の「佛婦だより」に次の記事があります。

「長い間、皆様から仏婦の歌をつくりたいというご希望がでておりましたが、この度ようやく長田恒雄、高橋定一郎両先生の御協力によつて完成いたしました。(ママ)」

仏婦は来年には65回目的大会を迎えます。創立当時には25の仏教婦人団体が所属しておりました。

大阪府仏教婦人会、京都仏教婦人会、滋賀仏教婦人会、奈良仏教婦人会、兵庫仏教婦人会、和歌山仏教婦人会、静岡県仏教婦人会、長野県仏教婦人会、長野市仏教婦人会

作詞家 長田恒雄 profile

1902年(明治35年)静岡県に生まれる。
作曲家、高橋定一郎とのコンビで、幼稚園や日曜学校での行事に則したこども用の礼拝音楽と、毎日の生活でよく歌われる仏教讃歌を数多く作詞しました。

「入園式の歌 幼稚園」(作詞:長田恒雄/作曲:高橋定一郎)
「入園式の歌 保育園」(作詞:長田恒雄/作曲:高橋定一郎)
他に仏教讃歌として発表された作品に
「野のほとけ」(二つの詩からなる合唱曲、田中昭徳作曲)
「観世音菩薩讃頌」(田中昭徳作曲)等々多数の曲があります。田中昭徳師は現在、聖観音宗浅草寺の貫首でいらっしゃいます。また、渡辺はま子の歌謡曲「何日君再来」の訳詞でも有名です。

長野埴科郡仏教婦人会、福井県仏教婦人会、全日本仏教尼僧法団、川崎仏教婦人会、京都女子大同窓会東京支部、国柱会中央婦人部、孝道教団婦人部、駒込吉祥寺婦人会、真言宗智山派婦人会、真言宗豊山派婦人会、新義真言宗婦人会、浄土宗華頂婦人会、浄土宗東京婦人会、総持寺報婦人会、増上寺縁山会、調布仏教徒(当時資料)

現在でも同じお歌を多数の団体が合唱されていると聞いております。

私たちは本年度から、西日本での活動を拡張していくことを事業の目標にしております。発会当時にご縁があった仏教婦人会の皆様へ、仏婦の歌や当時のエピソード等々を折にふれお聞かせいただきながら、これからも交流を継続したいと思っております。

仏婦 NEWS抄

私たちの
日々のあゆみ
2017年4月～6月

4月

April

- 1日 「沙羅の樹」7号発行
- 6日 第30回花まつり(大正大学)
- 8日 京都花まつり(ANAクラウン京都ホテル)
- 10日 薬師寺・東大寺訪問(奈良)
- 14日 大本山池上本門寺訪問
- 19日 第1回役員会(天王寺)
- 5月
- 10日 監査会
- 16日 (公財) 国際仏教興隆協会 第19回理事会(増上寺会館)
- 17日 第12回理事会・第2回役員会(天王寺)
- 18日 (公財) 全日本仏教会第2回60周年実行委員会(明照会館)

6月

June

- 1日 (公財) 全国青少年教化協議会・正力松太郎賞授賞式(東京グランドホテル)
- 6日 全日本仏教青年会村山博雅顧問世界仏教徒青年連盟会長代行就任祝賀会(東京グランドホテル)
- 8日 第5回総会(大本山池上本門寺)
- 9日 第13回理事会(〃)
- 9日 真言宗豊山派仏教婦人会創立60周年記念祝賀会(椿山荘)
- 20日 (公財) 国際仏教興隆協会再生委員会報告会(目黒)
- 22日 東京都仏教連合会研修会・懇親会(浅草ビューホテル)
- 27日 NGO協働センター顧問村井様来局
- 30日 第106回文化講座・奈良仏教セミナー(薬師寺・東大寺)

事務局 だより

常々、社会福祉事業に多くの方々よりご協力いただきありがとうございます。それぞれの活動に運用させていただきます。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。(順不同・敬称略)

- ▼福祉事業にご協力の方々
小田義海 大橋百合子
花岡眞理子 海老塚るり子
- ▼里親運動にご協力の方々
河原時子 上原桂子
- ▼あおぞら奨学基金にご協力の方々
上原桂子
- ▼花の種運動にご協力の方々
本多宏子 松井百合子 長尾節子
佐々木公子 安井豊子
- ▼タオル運動にご協力の方々
河原時子 天王寺 武林隆
長澤弘志
- ▼「全佛婦」誌代にご協力の方々
静岡県仏教婦人会 天王寺
篠田節子 松井百合子 河原時子
- ▼ご芳志を頂きました方々
来馬明規 末廣久美 篠田節子
本多端子 河原時子 岩脇孝子

- 梨本三千代 松井百合子
大橋百合子 花岡眞理子
海老塚るり子 安部勢津子

【新豊院】

- 植松園子 蓑恵美子 花田照子
- 花田まさ子 望月則子 齋藤協子
- 田村成子 海野充子 蓑みさ子
- 出雲義樹 出雲君美子 太田悦子
- 土橋康代 土橋弘子 植松榮子
- 齋藤益代 望月由美子 齋藤マサ子
- 清水確子 望月明彦 小笠原房子
- 塩川とし子 佐野昌代 望月厚子
- 浦田秀子 小久保民江 高木清子
- 佐野せつ子 磯部悦子 篠田節子

【真善院仏教婦人会】

- 村松貞子 村松貞子 服部美紗代
- 荒井教子 近藤好子 杉本雅子
- 近藤鎮一 佐々木利秋 佐々木鶴代
- 塩澤敏夫 増田由起子 佐々木すずよ
- 平山輝代 山口政子 北原寿満子
- 芹澤好美 新村悦子 清水信子
- 伊藤百々代 近藤恭子 有ヶ谷一美
- 増田若江 杉村匡代 近藤恭江
- 山田有美 村松寿子 小島恵
- 上野清人 木南鈴子
- 【宝光院】
金井佐久子 猪瀬三枝子 浜野福貴子
中澤恵子 栃澤元子 中新井幸江
大橋聡衣 上野雪子 小島聖子
黒川秀子 大橋百合子

【事務局扱い】

- 高橋節子 吉田視知恵 河原時子
- 上原桂子 村上和之 木村匡成
- 横山俊子 末廣久美

賛助金にご協力の方々

- 曹洞宗/浄土宗/浄土真宗東本願寺派/真言宗豊山派/真言宗智山派/念法真教/天台宗/日蓮宗/真言宗須磨寺派/真言宗大覚寺派/聖観音宗浅草寺/法華宗陣門流/真言宗中山寺派/真宗木辺派/総本山知恩院/総本山四天王寺/妙法院門跡/三千院門跡/毘沙門堂門跡/輪王寺門跡/中宮寺門跡/法隆寺/大本山成田山新勝寺/大本山川崎大師平間寺/大本山高尾山薬王院

- 高幡不動尊金剛寺/大本山善光寺大本願/大本山永平寺/大本山總持寺/大本山増上寺/大本山護国寺/大本山薬師寺/大本山池上本門寺/本山大坊本行寺/音羽山清水寺/大雄山最乗寺/孝道教団/總持寺/天王寺/深大寺/梅窓院/上品蓮台寺/慈眼寺/金乗院/回向院/慈眼寺/寶生院/淨眞寺/可睡齋/長専院/光明院/金嶺寺/善養寺/宝蓮寺/満願寺/西新井大師總持寺/東園寺/傳通院/竹林寺/高岩寺/(公財) 仏教伝道協会/日本仏教鑽仰会/京都仏教会/静岡県仏教会/更生保護法人日新協会/柴田龍太郎(弁護士)/(株) 中山石渠/泰書會/IRI日本センター/大和証券(株)

ご案内

- (公財)全日本仏教会 財団創立60周年記念式典
【日時】10月13日(金)14時より
- 第44回全日本仏教徒会議福島大会
【日時】10月14日(土)9時30分より
- 第59回静岡県仏教婦人会 三ヶ日大会
【日時】10月31日(火)11時より
- 第64回全日本仏教婦人連盟大会
【日時】11月6日(月)11時より
- 【会場】東京プリンスホテル 「マグノリアホール」

(公財) 仏教伝道協会 主催

Buddhaspel(ブッダスペル) ~ peaceful light 平和の光 ~ 第18回仏教音楽祭

- 【日時】11月8日 開演18:30~(開場18:00)
- 【場所】紀尾井ホール(東京都千代田区紀尾井町6-5)
- 【料金】S席 3,000円 A席 2,000円
- 【出演者】曹洞宗梅花流師範 第50回仏教伝道文化賞、沼田奨励賞受賞者 松下功氏(東京藝術大学 副学長)他
- 【後援】(公社)全日本仏教婦人連盟

へえ! そうなんだ 生活の中の仏教用語

機嫌【きげん】

上流の婦人は、お互いにたぶん「ご機嫌よう」といって、挨拶をしているはずである。来るときも帰るときも「ご機嫌よう」のひと言、皇室でそのようにいっているからかもしれない。

「よっ!旦那ご機嫌ですね」というのは、酔っぱらいに対する呼び込みのかけ声である。「チョッとご機嫌伺いに」というのは、我われでも使う。

この機嫌という語は、仏教では「譏嫌」と書き、本来の意味は「他人を非難し譏り、忌み嫌う」という意味であった。この他人を非難し、忌み嫌う譏嫌には、「譏嫌戒」という戒律があった。これは「機嫌買い」とは意味が違う。あの人は機嫌買いだという場合は、自分の気分で、他人に対する好き嫌いが変わってしまう人のことをいうのであるから、譏嫌戒とはまるで違う。

譏嫌戒は、他人から非難されたり、指弾を受けたりしないために設けられた戒律であって、「防護」譏嫌といった方がわかりやすい。たとえば、酒を飲む、ぜいたくだと見られるようなことをする、私有物を蓄える、強い臭いを発する食物をとる、というようなことを修行僧に禁じる(仲間の僧の修行の邪魔になるため)ということであった。

この戒は、行為そのものは、一般からみれば、たいして悪い事と認められないが、他人から誤解されやすいという面がある。そこで戒が出来たわけであるが、この言葉は後に一人歩きして、まず「相手の出方を待つ」という意味が生まれ、人間の内心の思惑や相手の気持ちを推し測るといった意味になった。

狭い国土に人口が多いと、常に無用の摩擦をさけるため、相手の心を推し測るということをして来た。お互い疲れるが、ともかく「ご機嫌よう」。

書問文明著『生活のなかの仏教語』(1995年3月、すずき出版刊)より